



福山市立有磨小学校 4年学年通信 2025年(令和7年) 8.25 NO.10

さあ 二学期だ

長かった夏休みも終わり、学級にこどもたちの元気な声が返ってきました。夏休みにした工作や研究など、それぞれの力作を持ってきました。工夫をこらした貯金箱、貝を使った額縁、自分の思いを込めた環境や健康のポスター、こどもたちの工夫や頑張りが、どれをとっても分かるものばかりでした。また、「ステップアップ夏」は、答え合わせをし、まちがっていたところを直して出していましたが、まちがっているところに○をしたり、ていねいに書かれていなかったりしていたところがありました。逆に、計算や角度を求めるときに考えたあとを残したり、線を引くときものさしを使って書いたりして、今まで習ったことを生かした学習をしているこどももいました。

二学期は、稲刈り・餅つき、社会見学、学習発表会、マラソン大会など多くの行事があり、学習する内容も一番多い学期です。自分をしっかり見つめながら、確実に学習を定着させるとともに、工夫や発想を大切にしながら学習や生活をしていきましょう。

平和について考えました

登校日の後半に平和学習をしました。こどもたちに、「8月6日は何の日か知っていますか。」と聞いたところ、ほとんどの児童は知りませんでした。当然、原爆投下の時刻もほとんどのこどもたちは知りませんでした。広島では、毎年、平和記念式典が行われているにも関わらず、子どもたちがそのことを知らないことに驚かされました。原爆投下の話をした後、「広島に一番電車が走った」というDVDを見ました。これは、学校に行きながら広島の電車の車掌をしていた人の実話をもとにアニメ化されたものです。原爆が落とされ多くの命がなくなり、町全体がなくなった中でも、8月9日には広島の町に電車を走らせたという内容です。

今年は、広島・長崎に原子爆弾が落とされて80年目にあたります。被爆者の平均年齢は、86歳を超え、被爆体験の話をしてくださる方が毎年少なくなり、被爆体験の継承をどのようにしていくかが、喫緊な課題とされています。こどもたちは、十月の社会見学で広島に行き、日本が外国としていた戦争のこと、広島に落とされた原子爆弾のこと、原子爆弾が落とされた後の人々の暮らしや復興に向けてみんなが力を合わせてきたことなど多くのことを学んで来ます。二学期は、総合的な学習で、社会見学で学んだことをまとめ発信し、平和についてしっかり考えていきます。みなさんの周りに、原爆や福山空襲などを経験された方がおられましたら、話を聞かせていただければと思いますので、ご連絡ください。

9月の集金について

9月の集金は3000円です。引き落とし日は、9月16日(火)です。長子のご家庭の方はPTA会費1000円を加え、4000円になります。通帳の確認をよろしくお願い致します。※手数料が10円必要です。